

# Jカフェ+Zoom

～～ JAUW ヒューマンリソース活用プログラム ～～

JAUWが誇る最大のタカラは、会員のもてるチカラです。  
 ここには、豊かな経験、広い知見、深い洞察があります。  
 ご一緒に、新しい世界を発見、創出、共有しませんか。

## 第11回 『若草物語』のジェンダー論 ～作品世界と作家の実人生の中で～

少女時代に夢中になって読んだ小説といえば『赤毛のアン』、そして『若草物語』が挙がるでしょう。まず、タイトルがすてきです。どこの家庭にもあるもめごとや、悲しみや喜びをとおして成長していく4人姉妹は、まさに若草のイメージにぴったり、わくわくさせる響きがあります。しかし原作は*Little Women*、味も素っ気もありません。作者オルcottはなぜこんな無味乾燥な題名にしたのか気になりませんか。意外にも、この二文字には時代を映すふかい意味が込められているかもしれません。加納会長のお話がたのしみです。

日時：2021年12月18日（土）14:00～16:00

場所：Zoomを使ったオンライン開催（コロナ禍のため、**全員Zoomのみ**になります）

講師：加納 孝代氏（東京支部会員、活水女子大学前学長、青山学院女子短期大学名誉教授）

募集人数：50名 **講師はオンライン参加です**

申込：12月13日（月）までに

Google フォーム <https://forms.gle/dujLoSVkAwHs.jp9z7> より

または、E-mail：j-cafe@jauw.org（Jカフェ専用）でお申し込みください。

振替を確認後、前日までに URL をお知らせいたします。

参加費：1,000円

振込先 ゆうちょ銀行 記号番号 10150-11757481

（他銀行から 普通 〇一八店 1175748）一般社団法人 大学女性協会

アンケート：Google フォーム <https://forms.gle/KkFH4wyqZZ8vC4c68>（12月25日まで）



### 【加納孝代さんから：お話のポイント】

ルイザ・メイ・オルcottの『若草物語』が書かれたのは19世紀後半のアメリカで（偶然だがそれは日本では明治維新の年）、登場人物はほぼ作者の実の家族たち。中では次女のジョーが最も魅力的だが、そのジョーを造形したのは作者のルイザ。ではそんなルイザを育てたものは何だったのだろうか。21世紀の悩める私たちにとって、『若草物語』はどのような意味で参考になり得るのだろうか。

### 【プロフィール】

福岡県久留米出身。高校留学生としてオハイオ州で1年過ごした。東京大学文学部社会科学卒業。大学院では比較文学比較文化を学んだ。研究対象は宗教社会学、翻訳文学、旅行記。40数年短大や大学で教員をして退職。大学女性協会入会は1996年だが活動は殆どしてこなかった。2018年に副会長、2020年から会長。



- ★ 生涯学習委員会では、JAUWの人材を活かす活動を企画。他薦・自薦大歓迎！
- ・「災害の記憶をつなぐ」記録集：原稿募集中 ジェンダーの視点から、災害に関する経験や提言を収集
- ・Jカフェ：「あの人に話を聞きたい」（経験談、趣味の紹介、専門知識など）
- ★ 生涯学習委員会 Jカフェ専用メールアドレス：j-cafe@jauw.org

